

## 平成30年度第3回ギャンブル等依存症対策研究会 議事要旨

日時：平成30年7月11日（水）午後2時30分から4時45分

場所：府庁本館5階議会会議室1

出席委員：井上研究委員、木戸研究委員、西村研究委員、河本専門委員、藤井専門委員

関係部局：IR推進局、府こころの健康総合センター、大阪府精神医療センター、市こころの健康センター、府健康医療総務課、府地域保健課

### <議事>

#### 1) 現在の依存症対策について

\*府健康医療部地域保健課、府こころの健康総合センター、大阪精神医療センターから現在の依存症対策について説明

#### 2) あるべき対策の提案について

\*河本委員、藤井委員から、それぞれの機関での状況を報告

\*木戸委員からの実態調査のあり方について報告、西村委員から海外の先進事例について報告、井上委員からあるべき対策について報告後、意見交換

### 【主な意見】

#### ◆治療や相談につなげるアプローチ

- ・治療意欲の無い人を治療につなげることが重要であるが、大事なことはその人に応じたタイミングに合わせること。
- ・出来るだけスムーズに、適切な機関につなげていくシステムをつくる必要がある。

#### ◆実態調査

- ・エリア毎の対策を講じる必要があるため、そのための実態調査が必要。
- ・大阪は単身でも依存症になる人が多いなど、大阪の特徴を把握することが大事。

#### ◆回復支援

- ・表面化して終わるものではないため、長いフォローが必要であり、寄り添う体制を作っていくことが大事。

#### ◆人材育成

- ・人材育成は時間がかかるものであり、今から人を育成するシステムの検討が必要。

#### ◆予防教育

- ・予防教育ということでは、社会に出る前段階の高校生への教育が重要となる。